

授業科目名 <英訳>	社会学(特殊講義) Sociology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 特定助教 森川 裕貴					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中国語講読										
【授業の概要・目的】											
<p>現代中国語を正しく発音・読解する能力を身につけることを第一の目標とする授業である。そのために、近年中国で書かれた評論や散文などを教材として取り上げる。なお、日本の過去・現在・未来について考える際、好むと好まざるとに関わらず、中国の存在を抜きにすることはできない。だが、中国についてどのように語るのであれ、われわれが有している理解はしばしばあまりに貧弱で一方的である。この授業では、中国語の文章を実際に読み込むことで、そうした浅薄な理解から一歩踏み出ることをも目指す。</p> <p>* 読解力のみならず、中国語の能力全体を引き上げるために、発音の学習も重視する予定である。</p>											
【到達目標】											
現代中国語で書かれた文章を正確に発音し、読解できるようになる。文章内容の理解を通じて、中国について考える際の手がかりを得る。											
【授業計画と内容】											
比較的最近、中国で書かれた評論や散文を、3～4回に1篇のペースで読んでいく予定。受講者には現代中国語で文章を読み上げた上で、それを日本語訳するという作業が求められる。なお必要に応じて、どのようにすれば現代中国語の正確な発音が可能となるのかについても指導する。初回に詳細を説明する。											
【履修要件】											
現代中国語に関する基本的な文法事項を習得していることが望ましい。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点による。											
【教科書】											
授業中に指示する											
----- 社会学(特殊講義) (2)へ続く -----											

社会学(特殊講義) (2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

授業で取り上げる箇所を日本語訳し、現代中国語で音読できるようにしておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

中国語の基礎を学び基本的な文法事項については理解しているが、発音や読解に自信が持てないという人の参加を歓迎する。なお、前期と後期で取り上げる文章は異なるので、後期のみの受講も認める。ただし、中国語(特に発音)に苦手意識があるようであれば、まず前期に受講することを強く勧める。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。